

# 専門教育との連携を目指した大学英語教育 —ESP の研究成果に基づいて—

田地野 彰 (京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)

寺内 一 (高千穂大学・教授、京都大学高等教育研究開発推進センター・研修員)

【日時】: 2008年2月16日(土) 午後3時~5時

【場所】: 京都大学吉田キャンパス(吉田南構内) 吉田南1号館1階会議室

**参加費無料** (事前申し込みは不要です。どなたでも当日参加できます。)

昨今の大学教育を取り巻く環境は変化が著しい。国立大学の法人化、専門職大学院の設置、少子化に伴う「大学全入時代」、第三者評価機関による大学認証評価の導入などにより、大学における英語教育もまたその意義と存在を改めて問い直されている。

このような状況のもと、本公開研究会では、「特定目的の英語 (English for Specific Purposes [ESP])」、とりわけ「学術目的の英語 (English for Academic Purposes [EAP])」に焦点を当てながら、カリキュラムの開発と実践という観点から、専門教育との連携を目指した大学英語教育のあり方について考察する。

まず、寺内が、現在のEAP研究の動向をとらえながら、専門教育と英語教育が融合した私立大学のカリキュラム実践例を紹介する。つぎに、田地野が、京都大学全学共通科目の英語カリキュラムを一例として、システムアプローチを援用したカリキュラム開発について検討を加える。さらに、両名による関連研究の中間報告も併せて行う(平成18年度~平成21年度科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)「英語学術論文作成のための自律学習支援システムの構築—ESP語彙リストに基づいて—」(課題番号18520433))。

最後に、京都大学が全学協力体制で取り組んでいる平成19年度総長裁量経費プロジェクト「京都大学における英語の学術語彙データベースの構築」についても紹介する予定である。

会場の皆様と一緒に、大学英語教育のあり方、および各大学の個性を生かした英語カリキュラム開発について、活発な意見交換ができれば幸いである。

主催: 京都大学高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

## 【アクセス】

JR・京都駅より: 市バス206系統「東山通 北大路バスターミナル」行「京大正門前」下車

阪急・河原町駅、京阪・四条駅より: 市バス201系統「祇園・百万遍」行、もしくは31系統「熊野・岩倉」行、「京大正門前」下車

京阪・出町柳駅より: 市バス201系統「祇園・みぶ」行「京大正門前」下車、又は徒歩約20分

## 【問い合わせ先】

高等教育研究開発推進センター 第一部門事務室 (hedu@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp) phone: 075-753-3087 fax: 075-753-3045

\* メール送信の際、件名に「公開研究会についての問合せ」とお書き下さい。